

# 鉄鋼概況

## 国内高炉4社 2012年度上期の業績大幅悪化へ

鉄鋼エコノミスト 左近司 忠政

6月末の普通鋼鋼材国内在庫（メーカー・問屋段階）は前月末比1.2%減で3カ月ぶりに減少し、国内在庫率は前月末比3.2ポイント低下して138.4%となった。7月の全国粗鋼生産は前年同月比1.2%増と5カ月連続で前年同月実績を上回った。7月の輸出（全鉄鋼ベース）は前年同月比11.4%増で3カ月連続で前年を上回り、7月としてはリーマン・ショック前の2008年に記録した331万トンを上回り過去最高を更新した。経済産業省がまとめた7～9月期の粗鋼生産計画は前期比2.2%増と2四半期連続で増加し、9四半期ぶりに2,800万トンに達する。国内高炉4社は2012年度4～9月期の業績見通しを発表し、4社ともに連結経常利益は前年同期に比べ悪化を見通している。新日鉄は、日鉄住金鋼板とともに5億5,400万米ドルを投じて、豪州鉄鋼最大手のブルースコープ・スチールが展開する建材薄板事業に50%参画することで合意したと発表した。7月の世界粗鋼生産（62カ国）は前年同月比2.0%増で2カ月ぶりに前年同月実績を上回り、1～7月の実績では前年同期比1.0%増、年率で初の15億トンを上回るペースを維持している。

※※※

### ◆7月粗鋼生産、5カ月連続増

鉄鋼連盟が発表した6月末の普通鋼鋼材国内在庫（メーカー・問屋段階）は、前月末比6万7,000トン、1.2%減の546万1,000トンとなり、3カ月ぶりに減少した。国内在庫率は依然として高いものの前月末比3.2ポイント低下して138.4%となった。一方、6月末の普通鋼鋼材の流通在庫は、鉄連が行った市中鋼材数量調査によると、前月末比2万1,000トン、0.8%減の273万5,000トンと2カ月ぶりに減少した。6月の販売量は、前月比7万6,000トン増の262万2,000トンと3カ月ぶりに増加し、その結果在庫率は前月末に比し4.0ポイント低下し104.1%となったが、19カ月連続で100%を上回った。

また、主要鋼材の在庫状況をみてみると、6月末の薄板3品（熱延・冷延・表面処理鋼板）の国内在庫（メーカー・問屋・コイルセンターの合計）は前月末比11万2,000トン、2.7%減の395万6,000トンとなり、15カ月ぶりに400万トンを下回った。4～6月のメーカーの国内向け生産が1～3月より7%程度減少したのに対し、エコカー補助金を受けた自動車メーカーの増産、震災復興を含む建材需要の緩やかな増加などから在庫調整が進んだ。在庫率は2.29カ月（前月は2.38カ月）と低下傾向となっているが、メーカーでは適正な在庫率は1.9カ月程度とみており、引き続き在庫調整を進めるとしている。

主要建材製品であるH形鋼の7月末全国流通在庫は、新日鉄系建材特約店組織である「ときわ会」の調査によると、前月末比6,600トン、3.4%減の18万9,400トンで5カ月ぶりに18万トン台になった。2カ月ぶりの減少で、在庫率は2.13カ月と0.25ポイント下がった。新日鉄では、もう一段の圧縮が必要で、君津製鉄所の大型鋼ラインのシフトダウンは上期中は継続し、減産を続けることで需給の適正化を目指すとしている。

鉄連が発表した7月の全国粗鋼生産は、前年同月比1.2%増の925万9,000トンとなり5

カ月連続で前年同月実績を上回った。また、1日当たりの粗鋼生産量は前月比2.6%減の29万8,700トン（年率換算1億900万トン）となった。自動車など一部製造業向けの需要が堅調だったほか、建築関連も底堅い動きとなったことで、増産となった。炉別生産では、転炉鋼が前年同月比0.4%増の722万7,000トンと4カ月連続、電炉鋼が同4.1%増の203万2,000トンと13カ月連続で増加した。

財務省が発表した7月の鉄鋼貿易統計によると、輸出（全鉄鋼ベース）は前年同月比11.4%増の366万2,000トンとなり、3カ月連続で前年を上回った。また、前月比でも2.2%増と2カ月ぶりに増加に転じた。7月としてはリーマン・ショック前の2008年に記録した331万トンを上回り過去最高を更新した。一方、全鉄鋼輸入は輸入材に割安感が出てきたことから同1.7%増の65万7,600トンと5カ月ぶりに前年を上回った。

国・地域別輸出では韓国・台湾などアジアNIE's向けが117万6,000トン（同9.3%増）と増加に転じ、中国向けは56万1,000トン（同5.2%）と再び増加した。ASEAN向けは111万6,000トン（同19.8%）と3カ月増となった。また、米国向けは19万4,000トン（同37.3%増）、中近東向けが13万4,000トン（同31.8%増）、ロシア向けは2万5,000トン（同2.1倍）と増加した。輸入国別内訳では、アジアNIE'sからが同24.1%増の42万8,800トン、中国からが同15.5%増の11万7,500トン、ASEANからが22.7%減の8,900トンとなった。

#### ◆7～9月期粗鋼生産計画、9期ぶり2,800トン超

経済産業省が鉄鋼メーカーからヒアリングした7～9月期の粗鋼生産計画は、前期比60万トン、2.2%増の2,809万8,000トンとなる。2四半期連続で増加し、9四半期ぶりに2,800万トンに達する。前期の生産トラブルの反動や一部改修に備えた半製品在庫の積み増しもあり、6月末に同省がまとめた粗鋼需要見通し（2,710万トン）より99万8,000トン多い。鋼材生産は2,452万トンで前期比3.7%増加し、普通鋼は1,923万トンと同4.5%増、特殊鋼は529万トンと同0.9%増となる。普通鋼のうち国内向け生産は1,229万5,000トン（同4.6%増）で、輸出は693万9,000トン（同0.8%増）となる。高炉による普通鋼鋼材の国内生産は、自動車・建築需要の増加に加えて、薄板・厚中板の前期の生産トラブルの取り戻し分により、前期比5.7%、42万4,000トン増える。電炉は堅調な小棒・H形鋼・薄板類の建築需要を受けて、2.6%、11万2,000トン増える。

この計画で生産されると、2012年度上半期（4～9月）の粗鋼生産は5,559万8,000トンと前年同期比4.3%増となり、2011年度下期比でも4.6%増える。半期としては、6,000万トンを上回った2008年度上半期以来の高水準となる。

#### ◆高炉4社、上期業績大幅悪化へ

新日本製鉄、JFEホールディングス、住友金属工業、神戸製鋼所は、2012年度上期（4～9月期）の業績見通しを発表した。上期の連結経常利益見通しは新日鉄が100億円（前年同期942億円）、JFEが50億円（同506億円）、住金が100億円（同413億円）と前年同期に比して大幅に悪化し、神鋼は250億円の経常赤字（前年同期は385億円の経常益）と見通している。鉄鋼事業では、市況低迷を受けた販価下落が響き、7～9月期の方が業績が悪化する。一方で下期はコスト削減などを進めて業績改善を見込んでいる。

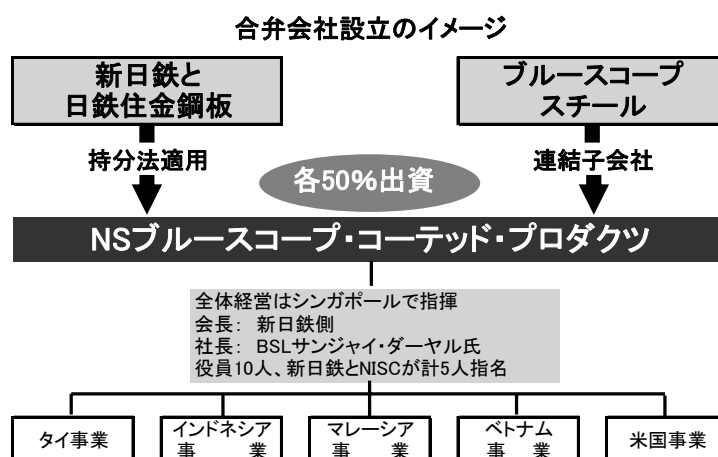
経営統合を予定している新日鉄と住金は通期見通しを公表していないが、JFEは上期50億円、下期850億円としている。その理由として、市況悪化リスクを50億円見込むものの、①コスト削減、②棚卸資産評価差益、③グループ会社の損益改善、が寄与するとしている。神鋼も下期は150億円の経常利益を見込んでいるが、上期の赤字をカバーできず通期経常

赤字に転落する見通しとしている。

### ◆新日鉄、豪 BSL と建材薄板合併

新日鉄は、日鉄住金鋼板とともに5億5,400万米ドル（約443億円）を投じて、豪州鉄鋼最大手のブルースコープ・スチール（BSL）が東南アジアと米国で展開する建材薄板事業に50%参画することで合意したと発表した。亜鉛めっき鋼板・塗装鋼板の年産能力約140万トンの事業に対して、半数を目処に原板を安定供給する。新日鉄は、建材薄板で高いブランド力と充実した生産・加工網をもつBSLの同事業に参画することで、環太平洋地域の建材薄板市場で一挙にプレゼンスを高めることを目的としている。合併化する事業は、タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、米国の7カ国にわたる。なお、総額443億円の投資は、新日鉄の海外合併の中でブラジルのウジミナスに次ぐ大型投資である。合併会社の名称は「NSブルースコープ・コーテッド・プロダクツ」とする。

図1 新日鉄の豪 BSL との建材薄板合併



### ◆7月世界粗鋼，2カ月ぶり増

世界鉄鋼協会（WSA）が発表した7月の世界粗鋼生産（62カ国）は、前年同月比2.0%増の1億2,974万トンとなり、2カ月ぶりに前年同月実績を上回った。中国は同4.2%増の6,199万トンとなり月間最高を記録した上に、今年で最も高い伸び率となった。その結果、6月には前年同月比マイナス（0.1%減）となった世界粗鋼生産は、再び増加に転じた。62カ国の7月の日産量は、前月比1.6%減と2カ月ぶりに減少した。

中国の日産量は同0.8%減と2カ月ぶりに減少し、中国以外では同2.3%減と3カ月連続して減少した。新興工業国では、韓国の日産量は前月比0.8%減と3カ月連続で減少した。インドは横這いで、過去最高に近い水準を保持しており、ブラジルは5.1%増と3カ月ぶりに増加に転じた。先進国では、EU27の日産量は前月比6.6%減と4カ月連続して減少した。北米は同0.5%減と3カ月連続で減り、日本は同2.6%減と2カ月ぶりに減少した。

1～7月の実績は8億9,694万トンで前年同期比1.0%の増加となった。年率としては62カ国として初の15億トンを上回るペースを維持している。 □